

令和4(2022)年度 学校経営のグランドデザイン

1 校訓、学校教育目標

校訓

心生道也(心生まるるは道なり)～意志あるところに道は拓ける～

学校教育目標

夢に向かってキラッと! やさしく、かしこく、たくましく

子どもの力を太く、深く、強く ～自分に自信がもてる力に～

2 目指すやまばとっこ子

- 違いを認め合い、力を合わせられる子ども
- よく聞き、考え、表現できる子ども
- 一歩踏み出し行動を起こせる子ども

3 目指す山内小学校像

<子どもの居場所>

明日も来たい、来て楽しいと言える学校

<確かな学びの場>

分かった、できたと学ぶ楽しみのある学校

<地域と歩む基点>

地域に愛される、地域と一体感のある学校

4 目指す山内小の教師像

○笑顔がすてきな支え合える教師

(子どもがあこがれる豊かな人間性)

○よく学び、よりよい指導の実現を希求する教師
(実践研究者としてのプライドとプロ意識)

○子どもの一歩を後押しできる教師

(子どもの可能性を見出し、意欲を引き出す力量)

5 今年度の重点と方策

【学力の向上】

分かる・できる・納得できる楽しさを
味わえる深い学びの実現

- 特別支援教育の考えを生かした授業づくり
- NIE、読書活動の充実
- 個別最適な学び、協働的な学びに向けたICT活用の工夫

【村(町、市)を育てる力の育成】

「持続可能な社会の創り手」を育む教育
(ESD)の充実

- ESDを軸としたカリキュラム・マネジメントとその実践
- 生活科、社会科、総合的な学習の時間等による発信と行動化

基盤となる 重点と方策

【安定した学校生活】小規模校のよさを生かした一人一人への対応

- みんなで学び、組織で動く特別支援教育の充実
- 代表値だけでなく一人一人の実態把握と実態の応じた指導

今年度の合い言葉

子どもたち→『アクション!自分に何ができるか考えて』

教師→『例年通り、いつも通りを超えて!』

共有 ⇄ 協働

地域の支え

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

P T A 山内地区交流センター 地域学校共同本部

等